

2019年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年5月15日

上場会社名	株式会社エードット	上場取引所	東
コード番号	7063	URL	https://www.a-dot.co.jp/
代表者	(役職名)代表取締役社長	(氏名)伊達 晃洋	
問合せ先責任者	(役職名)執行役員管理部部長	(氏名)吉田 光志	(TEL)03(5778)3784
四半期報告書提出予定日	2019年5月15日	配当支払開始予定日	—
四半期決算補足説明資料作成の有無	: 無		
四半期決算説明会開催の有無	: 無		

(百万円未満切捨て)

1. 2019年6月期第3四半期の連結業績(2018年7月1日～2019年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年6月期第3四半期	1,533	—	170	—	158	—	95	—
2018年6月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2019年6月期第3四半期 95百万円 (—%) 2018年6月期第3四半期 —百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年6月期第3四半期	53.87	—
2018年6月期第3四半期	—	—

(注) 1. 当社は、2018年6月期第3四半期においては、四半期財務諸表を作成していないため、2018年6月期第3四半期の数値及び2018年6月期第3四半期の対前年同四半期増減率の記載はしていません。

2. 第6期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であり、期中平均株価が把握できないため記載していません。第7期第3四半期累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、当社株式は2019年3月29日に東京証券取引所マザーズ市場に上場しており、新規上場日から当第3四半期累計期間の末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。なお、新規上場日から当第3四半期累計期間の末日までに株価がつかなかったことから、当第3四半期連結累計期間の普通株式増加数(株)はないものとしております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年6月期第3四半期	1,411	974	69.0
2018年6月期	616	294	47.8

(参考) 自己資本 2019年6月期第3四半期 974百万円 2018年6月期 294百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2019年6月期	—	0.00	—	—	—
2019年6月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年6月期の連結業績予想（2018年7月1日～2019年6月30日）

（％表示は、対前期増減率）

通期	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
	2,027	39.7	185	49.2	163	33.6	102	17.2	53.58

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動： 無

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年6月期3Q	2,319,000株	2018年6月期	1,743,000株
② 期末自己株式数	2019年6月期3Q	－株	2018年6月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年6月期3Q	1,766,577株	2018年6月期3Q	1,737,088株

（注）2017年12月1日付けで普通株式1株につき普通株式50株の割合で株式分割を行っております。

前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数（普通株式）を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づくレビュー手続きの対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続きは終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨ではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予測の前提となる条件及び業績予測のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	6
追加情報	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、先行きの不透明感は拭えないものの、全体として緩やかな回復基調が継続しました。

このような市場環境のもと、SPやPR、クリエイティブといったサービスを複合的に組み合わせ、事業やサービス、プロダクトの総合的プロデュースに注力してまいりました。また、各子会社の事業強化にも注力しており、ソリューション拡大に向けて積極的に取り組んでおります。

その結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は1,533,629千円、営業利益は170,785千円、経常利益は158,374千円、親会社株主に帰属する四半期純利益は95,182千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は1,411,069千円となり、前事業年度末に比べて794,928千円の増加となりました。これは主に、現金及び預金が621,292千円、受取手形及び売掛金が56,766千円、敷金が79,165千円、長期前払費用が29,700千円増加したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は436,912千円となり、前事業年度末に比べて115,011千円の増加となりました。これは主に、買掛金が20,728千円、短期借入金が50,000千円、未払法人税等が38,456千円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は974,157千円となり、前事業年度末に比べて679,916千円の増加となりました。これは主に、新株の発行により資本金の額が280,830千円、資本準備金の額が280,830千円増加したことに加え、四半期純利益を95,182千円計上したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年6月期は、既存の大手クライアントとの取引拡大に加え、2018年6月期に新規顧客開拓を行った大手クライアントとの取引開始を見込み、売上高は前期比39.7%の2,027百万円と計画しております。それに伴う売上原価の増加や人員増強等による販管費の増加が見込まれますが、増収効果により売上総利益は同43.7%の885百万円、営業利益は同49.0%の185百万円と計画しております。営業外損益については、支払利息の他に上場関連費用(21百万円)を見込み、経常利益は同33.1%の163百万円、当期純利益は同17.4%の102百万円と計画しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	293,425	914,717
受取手形及び売掛金	243,562	300,328
未成業務支出金	3,304	5,979
その他	26,498	27,423
流動資産合計	566,791	1,248,448
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,523	—
工具、器具及び備品	2,232	1,915
減価償却累計額	△1,394	△1,169
有形固定資産合計	4,361	746
無形固定資産		
ソフトウェア	5,027	4,189
ソフトウェア仮勘定	740	—
無形固定資産合計	5,768	4,189
投資その他の資産		
投資有価証券	810	810
敷金	34,996	114,162
長期前払費用	—	29,700
繰延税金資産	3,412	13,012
投資その他の資産合計	39,219	157,684
固定資産合計	49,349	162,620
資産合計	616,140	1,411,069
負債の部		
流動負債		
買掛金	98,957	119,685
短期借入金	—	50,000
1年内返済予定の長期借入金	68,443	61,864
未払金	26,156	39,513
未払法人税等	24,259	62,715
その他	40,273	55,011
流動負債合計	258,090	388,790
固定負債		
長期借入金	63,810	48,122
固定負債合計	63,810	48,122
負債合計	321,900	436,912
純資産の部		
株主資本		
資本金	48,580	340,668
資本剰余金	38,580	330,668
利益剰余金	207,080	302,262
株主資本合計	294,240	973,598
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	—	558
その他の包括利益累計額合計	—	558
純資産合計	294,240	974,157
負債純資産合計	616,140	1,411,069

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自2018年7月1日 至2019年3月31日)
売上高	1,533,629
売上原価	805,604
売上総利益	728,025
販売費及び一般管理費	557,239
営業利益	170,785
営業外収益	
受取利息	3
消費税等免除益	2,712
その他	501
営業外収益合計	3,217
営業外費用	
支払利息	947
上場関連費用	13,375
その他	1,304
営業外費用合計	15,628
経常利益	158,374
特別損失	
減損損失	3,269
特別損失合計	3,269
税金等調整前四半期純利益	155,104
法人税、住民税及び事業税	69,522
法人税等調整額	△9,599
法人税等合計	59,922
四半期純利益	95,182
非支配株主に帰属する四半期純利益	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	95,182

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2019年3月31日)
四半期純利益	95,182
その他の包括利益	
為替換算調整勘定	558
その他の包括利益合計	558
四半期包括利益	95,740
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	95,740
非支配株主に係る四半期包括利益	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は2018年9月29日付で、エードット社員持株会から第三者割当増資の払込みを受けました。当該第三者割当増資により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ11,258千円増加しております。

また、当社株式は2019年3月29日に東京証券取引所マザーズ市場に上場いたしました。上場にあたり2019年3月28日を払込期日とするブックビルディング方式による募集による新株の発行550,000株により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ280,830千円増加しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末において、資本金が340,668千円、資本剰余金が330,668千円となっております。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

第1四半期連結会計期間より、新たに設立した株式会社ARUYOを連結の範囲に含めております。

第2四半期連結会計期間より、新たに設立した北京伊藤商貿有限公司を連結の範囲に含めております。

追加情報

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。